

活動報告書 第4号

総務委員長に就任！



大村市議会議員

北村タカトシ

OMURA Innovation!

～感謝、そして新たな決意～

皆様のご支援を賜り、再び市議会へと送り込んで頂きました。本当にありがとうございます。

1,554名の皆様の付託と信頼を裏切る事ないように粉骨碎身、二期目も全力で働く決意です。

市政についてのご意見やご要望など、お気軽にお声を頂ければ幸いです。



～平成27年大村市議選挙結果～

1	園田裕史	4,437	7	北村タカトシ	1,554	13	伊川京子	1,262	19	城幸太郎	1,051
2	神近寛	2,280	8	村上秀明	1,529	14	中瀬昭隆	1,174	20	岩永慎太郎	1,040
3	宮田真美	2,227	9	朝長英美	1,496	15	村崎浩史	1,106	21	村上信行	1,018
4	小林史政	2,058	10	廣瀬政和	1,428	16	野島進吾	1,065	22	山北正久	1,003
5	永尾高宣	1,734	11	田中秀和	1,378	17	水上亨	1,061	23	井上潤一	980
6	田中博文	1,701	12	山口弘宣	1,306	18	古閑森秀幸	1,051	24	大崎敏明	946
						25	三浦正司				870

～新会派「みらいの風」を結成～

一期目は「おおむら未来の会」を伊川議員、村崎議員と共に3名で新結成し、議会活動を共にしてきました。

「議会は行政の追認機関ではなく、無責任な批判者でもない。市政発展を願う市民の代弁者である」そんな理念の基、任期中は予算修正議案を上程する等「是々非々」の姿勢を貫いてきました。

今般6名の議員と共に新会派「みらいの風」を結成、9名の最大会派となりました。新たな仲間と共に議論を深め、初心を忘れることなく議会活動を行ってまいります。

「みらいの風」 北村タカトシ、伊川京子、村崎浩史、三浦正司、村上秀明、廣瀬政和、朝長英美、井上潤一、野島進吾

～議会新体制が決定、総務委員長に就任！～

5月13日に召集された臨時議会において議会新体制が決定しました。私の所属会派「みらいの風」からは議長、委員長2名を輩出することができました。私は総務委員会に所属となり、委員長選挙によつて委員9名中7名の信任を頂き、総務委員長に就任いたしました。総務委員会は財政部を所管しています。全国的に厳しさを増す地方財政、大村市の財政についても将来を見据え、しっかりと議論、審議していきたいと思います。

議会三役 議長：村上秀明 副議長：大崎敏明 監査委員：神近 寛

・常任委員会

委員会	委員長	副委員長	委 員	所 管
総務	北村タカトシ	三浦正司	山口弘宣、園田裕史、田中秀和 廣瀬政和、神近 寛、宮田真美	市長公室、総務部、財政部、 市民環境部、選挙管理委員会等
厚生文教	城 幸太郎	村上信行	井上潤一、村崎浩史、古閑森秀幸 小林史政、田中博文、中瀬昭隆	福祉保健部、こども未来部、 教育委員会
経済建設	朝長英美	水上 亨	野島信吾、山北正久、大崎敏明 岩永慎太郎、永尾高宣、伊川京子	農林水産部、商工観光部、 都市整備部、上下水道局、競艇等

・議会運営委員長：伊川京子

・広報委員長：園田裕史

議会活動

平成26年6月～27年3月、全4回の定例議会が開催されました。
全ての議会に登壇させて頂き、行政を質しました。
その内容をお知らせします。

26年6月議会

身の丈起業の支援について

産業支援政策としてSOHO(スマートオフィス・ホームオフィス)のまちづくりが必要である。過大なリスクを負わない身の丈起業を進めるべきである。若い世代はもちろんシニア世代の起業が進めば、納税も維持される。そのために、空き店舗等を活用し、起業家が集まり作業ができるコワーキングスペースを設置してはどうか。また、相談員の配置や創業融資制度の実績はどうか。

回答→起業したい方に情報交換や仕事の質を高めるための実務環境を共有するスペースを提供することは、必要になると思われ、旧大村浜屋跡に設置してはどうかと考えている。また、相談員の実績については、相談件数が3件、企業訪問が12件となっており、創業融資制度の実績については、5月末現在での融資実績はない

AED使用講習の充実を

AEDがあるのに使わない、使えないという状況によって、助かるはずの命を失ってしまうという事例が全国で発生している。本市のAED設置状況や使用講習の状況はどうか。さいたま市教育委員会が作成したアスカモデルを参考にAED使用マニュアルを作成し、啓発を行うべきである。また、DVDの作成、配布なども効率的な手法と考えるがどうか。

回答→AEDの設置場所については、全体で168カ所である。また、学校でのAEDの研修については、平成25年度に教職員向け7校、児童向け1校、保護者向け7校で実施している。また、AED使用マニュアルやDVDの作成については、迅速に効率よく対応できる体制が大事なため、今後、内部で十分協議し、体制を整備したい。

その他の質問項目

小児医療拡充／中小企振興会議／骨髄移植ドナー支援／臓器移植意思表示カード普及／ラブ&セーフティおおむら推進／ヘルメット着用義務条文化／のびのびファイル活用／フッ化物洗口推進

26年9月議会

鉄の駅設置構想について

第5次総合計画に「鉄の駅」設置を明記すべき。新幹線車両基地、車両基地新駅、新幹線公園を一体的に整備し、フルーツの里福重や民泊との連携を視野に入れた施設は新たな観光資源となる。機運を盛り上げる為にスイーツトレイン定期運行を目指し、すいーつ祭りやパティシエを目指す学生とのコラボ企画も有効だと考える。

回答→「鉄の駅」設置については、第5次総合計画に明記し取り組む。また、スイーツトレインについては平成27年度から大村線運行が決定したため、市としてもバックアップして成功させたい。

医療＆介護ツーリズム等について

介護難民が増加するとされる大都市圏のシニア移住誘引政策を提案する。財源を賄う住所地特例拡大を国に訴え、福祉のまち日本一のまちづくりを実現すべきだ。介護需要が高まり従事者が増えれば出生率も比例して上がるというデータがあり人口維持にも有効だ。海外の富裕層を取り込む医療＆介護ツーリズムも含めて検討すべき

回答→大都市圏のシニア移住を実現する為の課題をクリアするため、県市長会で提案し進めていきたい。海外富裕層の医療ツーリズムには言語などの国際化が課題だとおもっているが、長崎医療センター等があり受け皿としては可能だと思う。前向きに取り組む。

※シニア移住は地方創成戦略の一環、日本版CCRC構想として閣議決定されました！

その他の質問項目

・アスカモデルによるAED講習・交通安全協会と連携した通学時の安全向上・フッ化物洗口の理解促進・花き振興法・鉄の駅の設置構想・介護ツーリズム&イミグレーション・ふるさと納税

26年12月議会

骨髓ドナー支援制度の導入を！

白血病等の治療法である骨髄移植。骨髄を提供するドナーは究極のボランティアとも言われ、1週間程度の入院が必要だが休業補償も無く、移植が進まない原因にもなっている。全国の自治体では独自の支援制度導入が増えつつある。「自分以外の誰かのために」という命のリレーの応援メッセージをここ大村からも発信すべき。

回答→自分以外の誰かのために背中を押し、支え合いの社会をつくっていく必要があると確信している。ドナー支援については検討に長時間を要したが、本市もその一役を担えるよう、平成27年度から長崎県内で初めて実施する。

骨髄移植

大村市の松本崇市長は4日、骨髄移植の提供者（ドナー）を対象に、来年度から支援金を支給する方針を明らかにした。県内では初めて、九州では4自治体目。市国保けんこう課などに市国保けんこう課などによると、骨髄移植は白血病や再生不良性貧血などの血液難病に有効な治療法。ドナーは入院・検査費はかかるが、交通費は実費。1週間程度の入院が必要となるのが、心理的な負担もあり、ドナーとなるのに二の足を踏むケースが多いという。

こうした中、市は負担を軽減し、ドナー拡大につなげようと、提供1回につき10万円程度支給する方向で検討している。仕事をしている人にとっては、休業補償の意味合いもある。

同日の定例市議会一般質問で、北村貴寿議員（おおむらみらいの会）が、自身のドナー経験を踏まえ「本来は国がやるべきだが、地方から声を上げることも必要」として支援を要望。松本市長は「自分以外の誰かのために、という方々の背

ドナーへ支援金 大村市方針 負担軽減で拡大図る

（平成26年12月5日・長崎新聞）

6度の質問で
県内初制定!!

芸術文化の激励・褒賞制度が必要だ。

大村市のスポーツ分野における激励や報奨に関する制度はあるが、芸術文化についての制度が確立されていない。芸術文化分野において基準を設けるのは難しいと思うが、現状の運用では恣意性も否めない。熱心に芸術文化活動をされている市民を交えた審議会を創るなどして制度・基準を確立し、更なる芸術文化振興を図るべき。

回答→芸術文化活動における激励費の制度はないが、スポーツ奨励制度と同様な制度を検討したい。また褒賞については大切な事と考えている。教育委員会表彰や市政功労賞などで検討したい。

その他の質問項目

大村湾を活かしたまちづくり／新たな財源確保策／空き家対策／フッ化物洗口促進／障がい者雇用推進／介護ボランティアポイント制度

27年3月議会

「鉄の駅」設置構想について

第5次総合計画に明記される鉄の駅。これを従来型の道の駅にしてはならず、全国から人が集まる観光名所にすべき。夜間に車両基地に戻ってズラリと並ぶ最新型新幹線をライトアップし、見学できるような施設や高速交通網の研究所を作るべき。その為にはJR九州へ早期に要望・交渉を開始し、設計段階から連携して進めるべき。

回答→鉄の駅設置についてはJR九州と交渉しなければならないことを知らなかった為、早速JR九州と交渉を重ねて練り上げたい。

まちひとしごと地方創生総合戦略について

総合戦略にはP D C Aサイクルや目標数値等、高い精度が求められる。府内だけで議論せず、幅広く策定委員を公募すべきだ。また大村にもパッションフルーツの移動式緑化等、イノベーションの塊のような产品がある。これらを大消費地へ向け販売する支援ができないか。先ずは東京の県アンテナショップや大村事務所に設置しては。

回答→総合戦略の策定委員については、民間の意見や提案等をいただき、最終的に官民で中身を詰めたい。また本市の产品を大消費地で販売するための支援については、五島市長の了解を得ながら、五島市と共同運営している東京事務所への設置や、県のアンテナショップで何らかの形で対応できるよう県に働きかけ、市がバックアップしたい。

その他の質問項目

産業支援センターについて／ICT教育の促進／大村浜屋跡地リニューアルと活用／骨髄移植ドナー支援制度導入



議事録全文は、大村市議会のホームページにて。
また、質疑の全映像もご覧いただけます。
ケーブルTV・FMおおむらでも放送中！

その他活動

五島市 ローカル・マニフェスト検証大会 2014

～振り返る730日、そしてこれからの730日～

前回の五島市ローカル・マニフェスト検証大会から730日があと本年、この年間のローカル・マニフェストの実施状況を検証するとともに、既往の仕事に対する実施実績を配し、市民に政治家より身近な形にして聴いていただき、より多くの市民の方の主体的・積極的な参加を願って、五島市ローカル・マニフェスト検証大会としてこれまでの730日～」を開催いたします。市議会の皆様の多数のご来場をお待ちしております。



五島市長 野口 市太郎 氏

コーディネーター
黒村 貢寿 氏

開催日時 ▶ 平成26年 7月 24 日(木) 19:00～21:00 (開場18:30)

開催場所 ▶ 福江文化会館 3階 展示室(定員150名) 入場無料

主催団体 ▶ 一般社団法人 福江青年会議所

開催形式 ▶ パネルディスカッション方式

※一般の入場者は題題のみとなります。参加者・パリストへの直接の質問はできません。

一般財団法人
福江青年会議所

ローカル・マニフェスト検証大会実行委員会

〒573-0006 長崎県五島市福江町大字福江 1111

コーディネーターを務めました

県内初で大村市が制定した中小企業振興基本条例を長崎県全体に広げる為に勉強会が開催され、コーディネーターを務めました。



映画「うまれる」 満員御礼！

映画「うまれる」の上映実行委員会に参画しました。当日は満員御礼、好評を頂きました。

コーディネーターを務めました

五島市ローカル・マニフェスト検証大会で
コーディネーターを務めました。

～中小企業振興条例推進月間(6月)大勉強会～

私たちが動けば 社会が変わる！

～大村市中小企業振興基本条例制定～

2010年6月にさしかかる夏が近づき、4年が経ちました。

この間、全国の自治体では、私たちが導く資金創出・集合意識の

取り組みが各地で実現されています。

私たちの目標は、同じく地域活性化の取り組みがあわせたものです。

2011年1月19日㈯「中小企業振興基本条例」が大村市で制定されました。

その結果、大村市は、長崎県内唯一の大村市中小企業振興会議が設置されました。

次なる課題が待ち受けているのです。

そこで、二大村市での取り組みの事例報告と、

その立ち上げに実際に参画された皆様の経験談を交えて、

そして運営を始めたばかりの新規事業の運営者会員による、

本日のディスカッションから、多くの方へお聞きします。皆様へお手ごそとおもいます。

●日時
2014年 7月23日(水)
開会14:00～閉会16:00(13:30受付)

●会場
長崎商工会館ビル 2Fホール
長崎市桜町4-1 電話095-822-0111

参加
無料

●第1部
大村市における
取り組み
事例報告

●報告者
大村市役所企画政策委員長
富永一郎
大村市役所企画政策委員長
宮田正一

●第2部
パネルディスカッション
(具体的な取組みと、意義、成果、そして今後の課題)

●報告者
大村市商工課光部長
松本 勝一
大村市商工課企画部長
宮田 正一
長崎県中小企業家同友会大村支部前政策委員長
黒川 貢
長崎県中小企業家同友会大村支部政策副委員長
北川 貢
長崎県中小企業家同友会大村支部議員
宮田正一

主催 / 長崎県中小企業家同友会

餅つきです

お正月は昔ながらの餅つきや鬼火焚きへ。
向こう三軒両どなりの地域づくりは大切で
すね。



全国各地へ行政視察に赴きました

東京都三鷹市「SOHO CITYみたか」構想と戦略

- ・群馬県安中市「碓氷峠鉄道文化むら」
- ・東京都国立市「国立ファーム」

東京都稻城市「骨髓ドナー支援制度」

長野県小布施町「市民協働による花のまちづくり・町立図書館まちとしょテラソ
(ライブラリーオブザイヤー2011)」

長野県佐久市「世界最高健康都市構想」

東京都「第10回地域医療政策セミナー」

千葉県浦安市「うらやす市民大学」

埼玉県川越市「地域包括ケアシステム・
認知症施策と家族支援」

神奈川県平塚市「元気応援ポイント事業」

三重県伊賀市・愛知県知多市「議長・副議長立候補制度」

静岡県熱海市「A-biz・熱海市チャレンジ応援センター」

東京都豊島区「としまビジネスサポートセンター・すがも事業創造センター(S-biz)」



実績

- ・市長マニフェスト評価・検証につながる行政評価制度の開始
- ・福祉避難所の指定開始
- ・障がい者雇用の推進、就労支援ガイドブック「働きたい」リニューアル
- ・大村市公式フェイスブック始動
- ・議会インターネット放送開始
- ・病時保育所増設
- ・行政窓口耳マーク(筆談マーク)設置
- ・介護支援ボランティアポイント制度一部見直し
- ・大村公園のバリアフリー提言書を提出・整備開始、花まつり期間中の歩行者天国化
- ・フッ化物洗口推進
- ・学校等におけるAED使用講習強化
- ・第5次総合計画に新たな観光資源「鉄の駅」設置を明記
- ・芸術文化支援・激励制度の導入
- ・プロポーザル制度の審査結果公表ガイドライン強化
- ・中小企業振興基本条例の制定(県内初)
- ・骨髓ドナー支援制度を導入(県内初)

~政治資金収支のご報告~

●平成26年政治活動収支

収入総額 1,017,238円
(内訳)

- ・繰 越 17,238円
- ・借入金 1,000,000円

支出総額 524,987円
(内訳)

- ・備品、消耗品費 12,500円
- ・事務所費 18,120円
- ・組織活動費 43,220円
- ・機関誌の発行その他事業費 378,715円
- ・調査研究費 4,100円
- ・寄付、交付金 68,332円

資産等

借入金 4,114,205円
(すべて自己資金)

※県選挙管理委員会ホームページで
全ての政治団体収支報告が閲覧
できます。
尚、選挙運動費用は左記に含まれ
ておらず、別途の報告となります。
(管轄は大村市)

北村タカトシプロフィール

大村市議会議員 二期目 所属会派「みらいの風」
総務委員長・地方創生調査特別委員会
自民党大村支部青年局長

昭和48年2月6日生 水瓶座のO型
大村市武部町在住 家族：妻 理子（医師：北村理子クリニック皮ふ形成外科）

- ・市立三城小学校 ・市立大村中学校
- ・県立諫早商業高校 情報処理科
- ・国立いはやコンピュータカレッジ 卒業
- ・国立長崎大学大学院 経済学研究科（41歳で合格・在学中）
- ・社会福祉法人瑞鳳会 介護サービスセンターべイサイド大村 役員

○選挙歴

平成19年	大村市議会議員選挙	1,022票	落選
平成22年	大村市長選挙	3,236票	落選
平成23年	大村市議会議員選挙	1,673票	初当選
平成27年	〃	1,554票	二期目

○政治運動関係

- 県内外で公開討論会を推進、コーディネーター等を務めました。
- 平成17年 郵政解散における長崎三区・衆議院議員選挙
 - 平成18年 大村市長選挙において長崎県初のローカル・マニフェスト型公開討論会
 - 平成20年 長崎一区・三区・四区 政権"せんたく"公開討論会
 - 平成21年 福岡県柳川市長選挙 福岡県筑後市長選挙
 - 平成22年 長崎県知事選挙 長崎県南島原市長選挙 長崎県参議院選挙
 - 平成24年 熊本県知事選挙 福岡県筑後市市長マニフェスト中間検証
長崎県長与町長選挙
 - 平成25年 長崎県福江市長選挙 長崎一区衆議院議員選挙
 - 熊本県菊池市長選挙
 - 熊本県八代市長選挙
 - 平成26年 長崎県長与町長マニフェスト検証会
長崎県五島市長マニフェスト検証会

○最新動向はfacebookかtwitterにて！
リクエスト、フォロー待ってます！

○その他

- 平成12年 バイケイベント長崎ピースラリーを毎年開催
骨髓バンクドナー登録推進運動を発信中
- 平成17年 (公社)大村青年会議所第46代理事長
おおむら夏越まつり実行委員長
- 平成20年 (公社)日本青年会議所第34代長崎ブロック会長
北方領土へ上陸視察・日本人墓地清掃
- 平成23年 宮城県にて災害復興支援ボランティアに参加
- 平成24年 骨髄移植のドナーとなり骨髄を提供
- 平成25年 櫻井よしこ塾頭・
日本JCグローバルリーダー育成塾 最優秀塾生
東日本大震災支援活動「復興フォーラムin大村」開催
- 平成26年 グローバルリーダーネットワーク副代表に就任
中小企業振興基本条例勉強会コーディネーター
大村市スポーツを生かしたまちづくりコーディネーター

○趣味：バイク・自転車・山のぼり



北村タカトシ事務所

〒856-0847 大村市西部町264-4
TEL:0957-52-7731(ベイサイド大村内)
FAX:0957-50-0733
ホームページ <http://takatosi.net>
メール kitamura@takatosi.net

政治をイノベーション!!